

企画建設常任委員会 所管事務調査報告書

新焼却処理施設整備基本計画及び進捗状況について

〔調査期間〕 平成 28 年 9 月 8 日

〔調査内容〕

1. はじめに

備北クリーンセンターの老朽化が進み、また東城ごみ固形燃料化施設と福山リサイクル発電（株）との契約が終了しようとする中、新焼却処理施設を整備する方針が示されている。このたび、執行者より、その計画及び進捗状況について説明したい旨の要請を受け、企画建設常任委員会において報告を受けた。

2. 本市の現状（執行者説明）

（1）庄原市備北クリーンセンターについて

- ・収集量：6,082 トン 事業経費：214,699 千円（平成 26 年度実績）
- ・施設建設から約 26 年が経過し、施設の更新時期を迎えている。
- ・地元自治会との協定では、設置期限が平成 34 年 3 月末となっている。

（2）庄原市東城ごみ固形燃料化施設について

- ・収集量：1,652 トン 事業経費：97,423 千円（平成 26 年度実績）
- ・福山リサイクル発電（株）との固形燃料供給契約が平成 30 年度で終了する。
（平成 34 年度までは稼働される見込み）

（3）処理経費について

本市全体の処理経費（可燃＋不燃）は 1 トン当たり約 6.1 万円で、県内全体の処理経費（可燃＋不燃）約 3.9 万円と比較して、高額な経費を要している。

3. 今後の方針（執行者説明）

庄原市一般廃棄物処理基本計画及び第 2 期庄原市長期総合計画にもとづき、新焼却処理施設（施設規模：34 トン／日）を整備し、東城ごみ固形燃料化施設は廃止する。なお、東城地域の直接搬入ごみについては、東城ごみ固形燃料化施設をストックヤードとして存続させる。

スケジュール

平成 28 年度～平成 30 年度	用地選定、用地取得、施設・設備発注仕様書作成 等
平成 31 年度～平成 33 年度	地盤改良工事・敷地造成、プラント建設・外構工事
平成 34 年 4 月	供用開始
平成 34 年度～平成 36 年度	土壌汚染対策調査、備北クリーンセンター解体撤去工事 等

4. 委員会における主な質疑等

〔質疑〕 目標を 34 トン／日としているが、達成できるのか。

〔答弁〕 行政だけでは達成できず、市政懇談会等で 3R を呼びかけている。目標達成が可能となるよう、行政と市民で取り組みをしていきたい。

〔質疑〕 エネルギー回収率を上げると、交付金の交付率が上がるが、回収率の向上はできないのか。

〔答弁〕 計画している施設規模では難しく、他の地域でも事例はないが、検討の余地があるか再考する。

企画建設常任委員会 所管事務調査報告書

ひろしま里山交流プロジェクトについて

〔調査期間〕 平成 28 年 9 月 8 日

〔調査内容〕

1. はじめに

執行者より、「瀬戸内しまのわ」の中山間地域版である「ひろしま里山交流プロジェクト」の今後の展開について説明したい旨の要請を受け、企画建設常任委員会において報告を受けた。

2. プロジェクトの概要について（執行者説明）

豊かな地域資源を活用し、里山の魅力を未来へつなぐ地域づくりとして、県民参加型のイベントや地域活動等の支援事業を展開する。

(1) ひろしまさとやま未来博 2017～これからの、ニッポンの見本になる。～

時期：平成 29 年 3 月～11 月

場所：オープニングイベントには、備北丘陵公園が開催地として立候補

(2) シンボルプロジェクト

■廃校リノベーション・・・建築家 隈研吾氏の監修による廃校再生プロジェクト

時期：平成 29 年 2 月着工、平成 29 年 7 月完成

場所：県内 3 カ所（旧小鳥原小学校、旧三河内小学校が応募）

■さとやまソーシャルライド・・・専用アプリを活用した中山間地域をめぐるオリエンテーリングのサイクリング版

時期：平成 29 年 3 月～11 月

場所：中山間地域全域（300 カ所にチェックポイントを設置予定）

■さとやま未来展・・・おもちゃ美術館、さとやま未来教室など、さとやまにおける新たな可能性を提案するイベント

時期：平成 29 年 9 月

場所：中山間地域より選定（備北丘陵公園、道後山高原クロカンパークが立候補）

(3) ココロザシ応援プロジェクト

地域づくりに向けた意欲的なチャレンジや地域内外の人材交流などを目的とした地域づくりのための実践活動を支援するプロジェクト

時期：平成 29 年 2 月末まで（募集・計画期間）

平成 29 年 3 月～11 月（実施・活動期間）

3. 委員会における主な質疑等

質疑 廃校リノベーションとは、具体的に、どのような取り組みなのか。

答弁 旧小鳥原小学校は、現在閉鎖されている 2 階を活用して、交流の場として利用されようとしている。旧三河内小学校は、民泊を受け入れるに当たり、建物に傷みが出てきていることから、この事業へ取り組む意向を示された。